

北軽井沢の太陽光パネル再資源化拠点「きたばね～る」が本格稼働

重田商事株式会社

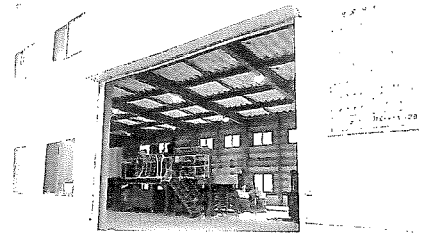
[TDB企業コード：220218878 / 法人番号：6070001023806]

重田商事（株）（本社：吾妻郡嬭恋村、社長：菅原健司氏）は、太陽光発電設備の大量廃棄時代を見据え、2025年2月より北軽井沢ソーラーパネルリサイクルセンター「きたばね～る」を稼働させている。太陽光パネルは有害物質を含み、一般の処理施設では対応が難しい処理困難物とされる。埋め立て処分には高いコストがかかり、最終処分場のひっ迫も課題となる中、同社は自社施設による再資源化に踏み切った。

同センターでは、運営会社やメンテナンス会社、産業廃棄物処理業者からの搬入に加え、運搬から処理までを一括で請け負う体制を整える。高性能破碎機を用い、1日最大480枚、約10.6トンの処理能力を持ち、処理後の再資源化物は約7割を占めるガラスを中心に、全て提携先が引き取り、資源として再利用される。

設立の背景には、固定価格買取制度（FIT）終了後に見込まれる大量廃棄への備えがある。加えて、過去の台風災害で近隣県から処理依頼を受けながら対応できなかった経験も後押しとなった。県境に位置する立地を生かし、災害時を含め地域で最も高い処理力を担う拠点を目指している。

群馬県内では同様の中間処理施設は少なく、許認可取得には3年を要した。需要は今後10年で本格化すると予測され、同社は環境教育にも力を入れる。施設を通じ、幼稚園や小中学生にリサイクルの重要性を伝え、循環型社会への理解促進に繋げたい考えだ。



「きたばね～る」で環境保護と資源再利用を目指す

【問い合わせ】重田商事（株）

住 所：吾妻郡嬭恋村芦生田205 電 話：0279-97-3264 F A X：0279-97-3992

U R L：https://shigetashoji.co.jp/